



2016年版 国立病院機構 新潟病院 神経内科専門医・内科認定医コース、 大学院博士課程パラレルトラックコース、海外大学院同時進学コースの 誘い（常勤医で年収も安定し、資格もすべて取るプログラムの紹介）

基本事項

- ◆ 常勤医師、ボーナス、有給休暇あり。プログラム終了後も、継続雇用され機構内病院への転勤もできます。
 - ◆ 内科認定医取得後は地域医療貢献のため、地域の保健医療機関で応援診療・兼業による地域医療研修も可能。（週半日以内）
- ◆ 内科認定医、神経内科専門医取得だけでなく、常勤医のまま、大学院博士課程による医学博士を取得できます。外来・救急・プライマリ・ケア・在宅・専門医療・臨床研究のあらゆる内容が習得できます。BLS,ICLSインストラクター資格が当院で取得できます。内科認定医取得者には神経内科専門医+研究プログラムあり。
- ◆ 内科指導医、神経内科指導医の他、臨床遺伝専門医、外科専門医、リウマチ専門医、検査診断専門医、脳外科専門医、放射線専門医などの専門的な指導を受けられます。
- ◆ 超音波診断、MRI診断、MDCT診断、内視鏡診断、気管支鏡診断、脳波診断、神経伝導度検査、筋電図などあらゆるモダリティの検査診断を完全に取得できます。
- ◆ 国内研修プログラムがあります。機構内病院および新潟大学附属病院、脳研究所病理など。
- ◆ 国内学会参加、研修会参加、海外大学院同時進学（留学）できます。費用は病院負担です。医学・医療・在宅医療英語研修プログラムがあります。（費用病院負担）

週間予定表の例

	月	火	水	木	金
8:30から8:50	症例検討会	症例検討会	症例検討会	症例検討会	症例検討会
午前	外来・病棟	外来・病棟	外来・病棟	外来・病棟	外来・病棟
午後	病棟総回診	神経生理検査 研修、呼吸ケア 研修 心筋症、心不全 研修	外科・消化器科 研修(PEG、気管 切開、筋生検)、 処置日	超音波研修(頸動 脈エコー、 経食道心エコー)	在宅訪問 訪問診療
夕方～	症例検討・多専 門職種ミーティ ング・NST/ リハビリテーショ ン	遺伝カウンセリング 研修	CPC (新潟大学脳研 と合同)月一回	臨床検討会・研究 紹介	CPC (さいがた病院と合同) 2か月に一回
			救急輪番日	毎週医療英会話ク ラス(英国人と)	

週間予定表は

相談にて変更。以下も選択できます。

- 小児神経研修(小児科専門医と)
- 循環器内科研修(脳卒中診療関連、心不全・不整脈・筋ジス関連、プライマリケア関連)(循環器専門医と)
- 呼吸器内科研修(呼吸不全研修、呼吸療法研修、NPPV研修、呼吸リハビリテーション)
- リハビリテーション医学研修
- 消化器科研修(外科専門医と)
- 脳外科専門医と脳外科研修もあり

1年目

2年目

3年目

4年目

5年目以降

1. 内科認定医最短コース

内科・神経内科研修→内科認定医試験

2年間のプログラムで内科認定医取得

2. 内科認定医・神経内科専門医取得 臨床コース

内科・神経内科研修→内科認定医試験

神経内科専門医取得プログラム→取得

医長へ

3. 海外大学院/臨床研究プログラムをとりいれた神経内科専門医取得 海外大学院進学・専門医取得コース

内科・神経内科研修

臨床研究プログラム、英国大学院社会人入学(2Wx6回
英国でのプログラム他は日本で)など、常勤医と平行して

神経内科専門医取得

医長へ

4. 内科認定医・神経内科専門医・大学院博士課程パラレルトラックコース-1

内科・神経内科研修→内科認定医試験

新潟大学脳研研修
(国立病院機構休職扱い)
新潟大学大学院医学部博士課程パラレルトラック

神経内科専門医取得
(国立病院機構復職)
新潟大学大学院医学部博士課程パラレルトラック

医長へ

5. 内科認定医・神経内科専門医・大学院博士課程パラレルトラックコース-2(常勤医継続型)

内科・神経内科研修→内科認定医試験

大学院博士課程の研究と常勤医の臨床研修を
平行してすすめます。医学博士と神経内科専門
医取得(新潟大学大学院医学部博士課程パラレルトラック)

医長へ

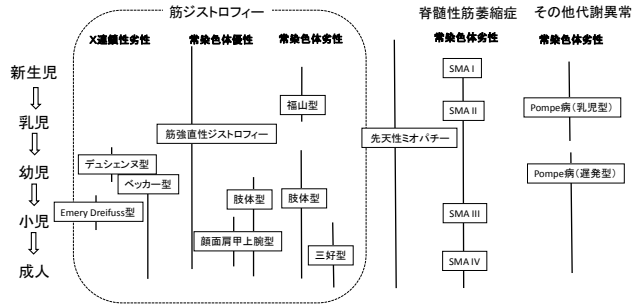
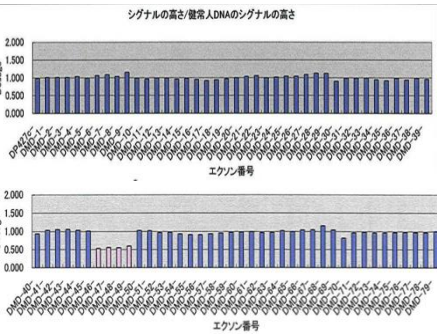
新潟大学大学院医学部博士課程パラレルトラック

難病・筋疾患・認知症・遺伝医療などの最新診療の充実

- あらゆる年齢層で神経疾患の診療をおこなう。
- すべての時点で最新の診断・治療技術を導入
- 小児から成人高齢者まで
- 筋ジストロフィーの遺伝子治療に向けた取り組み
- 認知症学会の教育病院
- 神経学会の教育病院

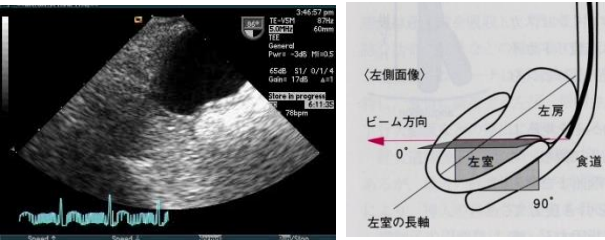
DNA診断から遺伝カウンセリング

院内の臨床検査科にて各種遺伝性疾患のPCR診断やシーケンス決定も行っている。

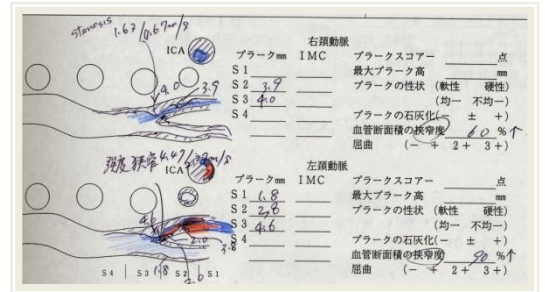


新潟病院では脳梗塞の最新診療と研修が充実

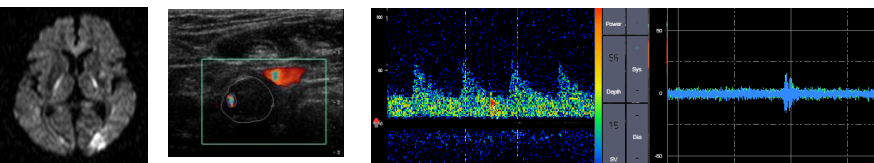
経食道心エコー法(TEE)を積極利用



頸動脈病変の評価

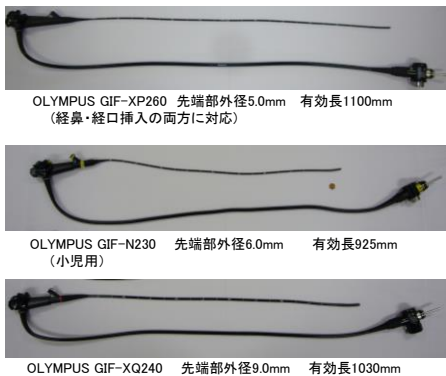


脳梗塞急性期から、MRIと 頸動脈エコーと 経頭蓋のHITS(high intensity thrombotic signals)で再発作をコントロール



- 左内頸動脈に低輝度プラークとNASCET法80%の狭窄性病変
- 経頭蓋超音波検査にて左MCAで30分間にHITSが9個検出された。
- 左内頸動脈の硬化病変を原因とするアテローム血栓性脳梗塞
- HITSを指標として抗血小板薬の治療効果が検証

内視鏡の進歩



先端部



新潟病院での最先端のPEG技術取得



あらゆる障害者、神経・筋疾患に対して、呼吸不全があっても、経皮内視鏡的に胃瘻を造設可能

- 細径の内視鏡とintroducer法で、咽頭麻酔、静脈麻酔不要。(会田ら神経学会総会抄録2009)。
- 栄養障害が進行した患者でも腹壁固定を行うことで、瘻孔形成不全や腹膜炎併発を予防。(石田ら 神経治療学1999)

英国緩和・在宅ケア研修 英国大学院社会人入学

St. Christopher's Hospice (在宅)
Kings College Hospital (急性期)
Helen & Douglas House(小児)

医師、看護師などが臨床実習。毎週木曜日英国人から医療英会話プログラム。Kings Collegeの大学院に進学(6回x2W英国滞在 Skypeも利用)



King's college of Londonのマスタープログラム留学へ

装着型ロボットを使ったリハビリテーションと治験/研究 Hybrid Assistive Limb(HAL)

